

「かわいい声」と印象語の関係

Relation between “kawaii voice” and impression languages

1w130439-1 野口 智世 指導教員 菅野 由弘 教授
NOGUCHI Tomoyo Prof. KANNO Yoshihiro

概要: 声は情報を伝える手段というだけでなく、言葉以上に話している人の印象や性格、感情などを伝えてくれる。本研究は、声から得られる印象の中でも特に「かわいい」に注目し、「かわいい声」とはどのような声なのかについて調査を行った。具体的には、29名の女性の声を聞き、22対の印象語を7段階のSD法で評価してもらう実験を行った。その結果、「高い⇔低い」の印象語が一番「かわいい」との相関が見られ、「遅い⇔速い」と「かわいい」には負の相関が見られた。実際に基本周波数と「かわいい」の評価得点を比較すると270Hz以上の声で「かわいい」の評価得点が高いものが多かった。さらに、「かわいい声」は第一フォルマントが強く出ていることが条件としてあげられる。

キーワード: 声、印象、かわいい、基本周波数

Keywords: voice, impression, kawaii, fundamental frequency

1. 目的・背景

声に関しては以前から多くの研究がされてきた。木戸ら[1]高椋ら[2]の研究は、声に対してどのような印象を与える言葉がふさわしいのか、声を表現し、分類していくためにどのような形容詞や言葉が使われるのかを示していくものだった。また、「かわいい」は世界共通の言葉となりつつある背景から「かわいい」に関する研究も行われている。しかし、声の分野でも「かわいい」の分野でも「かわいい声」についてはあまり研究がされていなかった。そこで、本研究では声を表す言葉の中でも特に「かわいい」声に注目し、関係する印象語を検討していくことを目的とする。

音声刺激には、声の印象を正確に評価してもらうためTMW[3]の女性29名による「oosama」の単語を用いた。

・音声刺激の提示方法

提示する順番の影響をなくすため、女性29名の音声刺激を被験者ごとにランダムに提示した。また、それぞれの声を2回ずつ、30秒の間隔をあけて提示した。

・印象評価の方法

印象評価の方法には7段階評定によるSD法を用いた。印象語対は先行研究[1][2]から選んだ15対と新しく作成した7対を加えた、合計22対を用いた。

2. 実験

・音声刺激

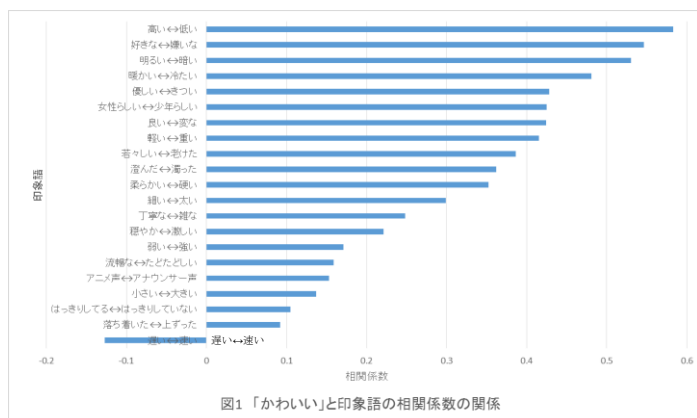
・実験手順

実験には男性10名、女性19名の合計

29名の被験者が参加した。年齢は19歳から29歳であった。場所は早稲田大学西早稲田キャンパス59号館405号室で行った。被験者に対し、同一のスピーカーを使い、一定の音量で音声刺激を提示した。被験者には、単語を聞きながら回答を行い、休憩を半分の時点で任意にとった。所要時間は説明・回答を含めて約40分であった。すべての被験者が29名の女性の声の印象評価を行った。

3. 結果・考察

「かわいい」の評価得点とそれぞれの印象語の評価得点の相関係数をスピアマンの順位相関係数を用いて求めた。結果は図1のようになった。



「かわいい」と「高い」の相関係数は0.583で正の相関が見られた。高い声のほうがかわいい声になることが分かった。しかし、声が高いからと言って必ずしもかわいいとは限らなかった。「かわいい」と「遅い」の相関係数は-0.127でほとんど相関が見られなかった。しかし、印象語の中では唯一の負の相関だった。「遅い」と「かわいくない」印象になった理由として、語尾を伸ばしている声が「遅い」という評価になったことが考えられる。

基本周波数270Hz以上の声で「かわいい」の評価得点が高い声が多かった。そのため、「かわいい」声の高さの基準になると推測される。

また、「かわいい」声と「かわいくない」声のスペクトログラムを比較すると、「かわいい」声には第一フォルマントが「かわいくない」声に比べて大きいことが分かった。これも、「かわいい」声において重要な要素になると考えられる。

4. 結論

本研究では、「かわいい」声と関係のある印象語について検討を行った。「かわいい」声には「高い⇔低い」、「好きな⇔嫌いな」、「明るい⇔暗い」という印象語が関係していることが分かった。

また、「かわいい」声になる声の高さは270Hz以上であると推測される。さらに、「かわいい」声の音響特徴として、第一フォルマントの大きさがあげられる。

今回は女性の声のみを対象としていたが、今後は男性の声でも「かわいい」声に関係する印象語を調査してみたい。

注：

[1] 木戸博・粕谷英樹：通常発話の声質に関連した日常表現語の抽出，日本音響学会誌，55(6)，405-411(1999)

[2] 高椋琴美・東優・谷田泰郎：声の印象を表現する単語による認知構造モデルの検討，日本音響学会研究発表会講演論文集 日本音響学会 編，451-454(2014)

[3] 音声音源コンソーシアム：東北大・松下単語音声データベース(TMW)，<http://research.nii.ac.jp/src/TMW.html>，(2017)